

製品名: TCEAL1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18723**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	TCEAL1
別名	TCEAL1; SIIR; Transcription elongation factor A protein-like 1; TCEA-like protein 1; Nuclear phosphoprotein p21/SIIR; Transcription elongation factor S-II protein-like 1
遺伝子 ID	9338.0
SwissProt ID	Q15170
免疫原	抗血清はヒト TCEAL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 91-140

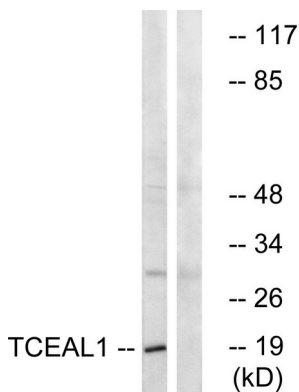
背景

この遺伝子は、転写伸長因子 A (SII) 様 (TCEAL) 遺伝子ファミリーのメンバーをコードしています。このファミリーのメンバー

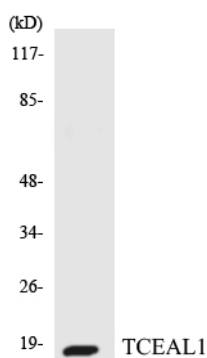
は、プロモーターコンテキスト依存的に転写を調節する核リン酸化タンパク質として機能する可能性があります。コードされているタンパク質は転写伸長因子 A/転写因子 SII に類似しており、ジンクフィンガー様モチーフと転写因子 SII ポリメラーゼ II 結合領域に関連する配列が含まれています。DNA への直接結合ではなく、他の転写調節因子とのタンパク質間相互作用を介して効果を発揮する可能性があります。複数のファミリーメンバーが X 染色体上に位置しています。選択的スプライシングにより、単一のアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 転写調節に関与している可能性があります。プロモーターコンテキスト依存的に、さまざまなウイルスおよび細胞のプロモーターを調節します。例えば、FOS プロモーターからの転写は増加する一方で、ラウス肉腫ウイルス (RSV) 長末端反復配列 (LTR) プロモーター活性は抑制されます。DNA に直接結合することはありません。PTM: Ser-36 および Ser-37 のリン酸化は転写抑制に重要です。類似性: TFS-II ファミリーに属します。TFA サブファミリーに属します。組織特異性: 検査したすべての組織で発現します。心臓、卵巣、前立腺、骨格筋で高い発現を示します。脳、胎盤、精巣、小腸で中程度の発現を示します。肺、肝臓、脾臓で弱い発現を示します。いくつかの癌細胞株で発現します。

研究分野

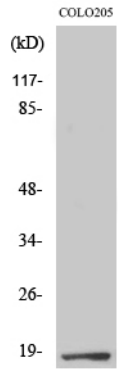
画像データ



COLO 細胞ライセートの TCEAL1 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TCEAL1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



TCEAL1 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。